



御降誕 2023

コムニオーネ・エ・リベラツィオーネ

信仰は単にイエスへのまなざしだけではありません。それはイエスの視点から、イエスの目をもって見ることでもあります。キリストの生涯は、人間の経験に新しい場を開き、わたしたちがその場に入ることを可能にしてくれます。わたしたちがイエスを知り、受け入れ、イエスに従うことができるようにするために、神の子はわたしたちの肉となりました。ナザレのイエスにおいて人となった神の子への信仰は、わたしたちを現実から引き離すどころか、むしろ、現実の深い意味を悟らせ、新しい物の見方を開きます。見ることはイエスに従うこととなります。そして信仰は、見つめる歩みとなります。この見つめる歩みにおいて、目は深みを見ることに慣れていきます。

教皇フランシスコ

わたしの人生で一番大切なものは何だろう？ひとりの若い女性の胎内から生まれ、他のすべての人と同じように成長し、そして死んだ人。つまり、《飼い主のいない羊の群れのようにであったから、彼らを憐れんだ》と幾度も表現されているように、憐れみを注いだ人間を救うために死ぬことを選んだ人である。神が人となられたのであれば、この人こそこの上ない愛の対象である。今日を変え、あなたに向けるわたしのまなざしを変えるから、これほど具体的なことはない。

ルイジ・ジュッサーニ